

令和元年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	11
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進	
ナイトケア事業	21
相談支援事業	24
サービス品質の向上を目指した取り組み	27
決算報告	33
施設・事業所一覧	

名東福祉会の理念

【法人の理念】

利用者の思いを確かなものにする

優しい気持ちになりたい ～ホスピタリティ・マインドを意識して～

- 笑顔で接する
- ありのままを引き受ける
- 気持ちに寄り添う
- 思いを想像する
- 真摯である

【法人のミッション】 「やりたいこと」「やらねばならぬこと」

自己決定を支援すること（意思決定支援）により、 利用者および利用者支援に関わる全ての人々に安心感を与える

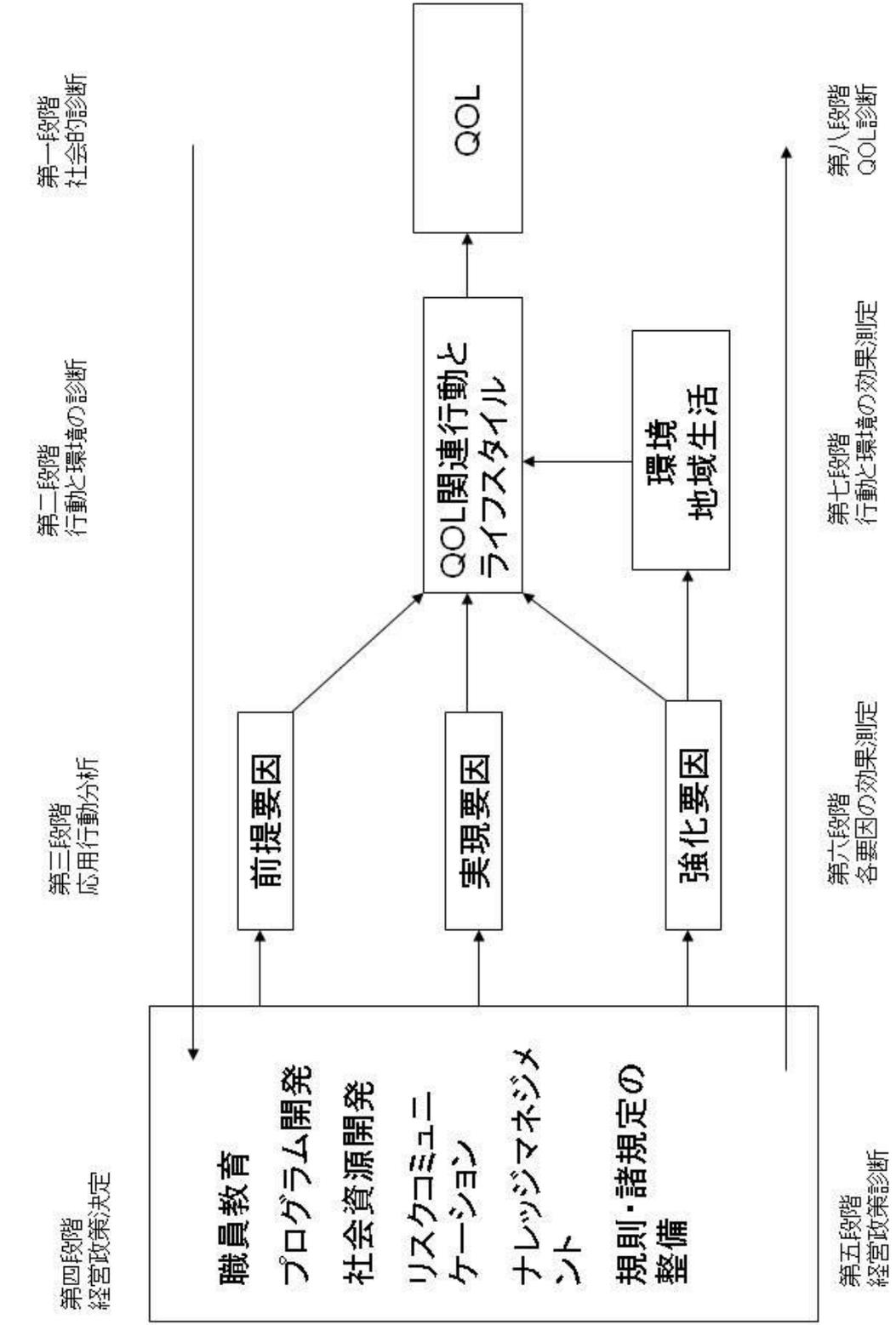
- ・利用者が **安心** して利用したい
- ・職員が **安心** して働きたい
- ・ボランティアが **安心** して参加したい
- ・理事会・評議員会が **安心** して経営参加したい
- ・後援会が **安心** して協力したい
- ・地域の方々が **安心** して任せたい

【法人のビジョン】 「ありたい姿」「あらねばならない姿」

“やりがい”を感じられる活動と、“安全”で“快適”な暮らしを提供する。

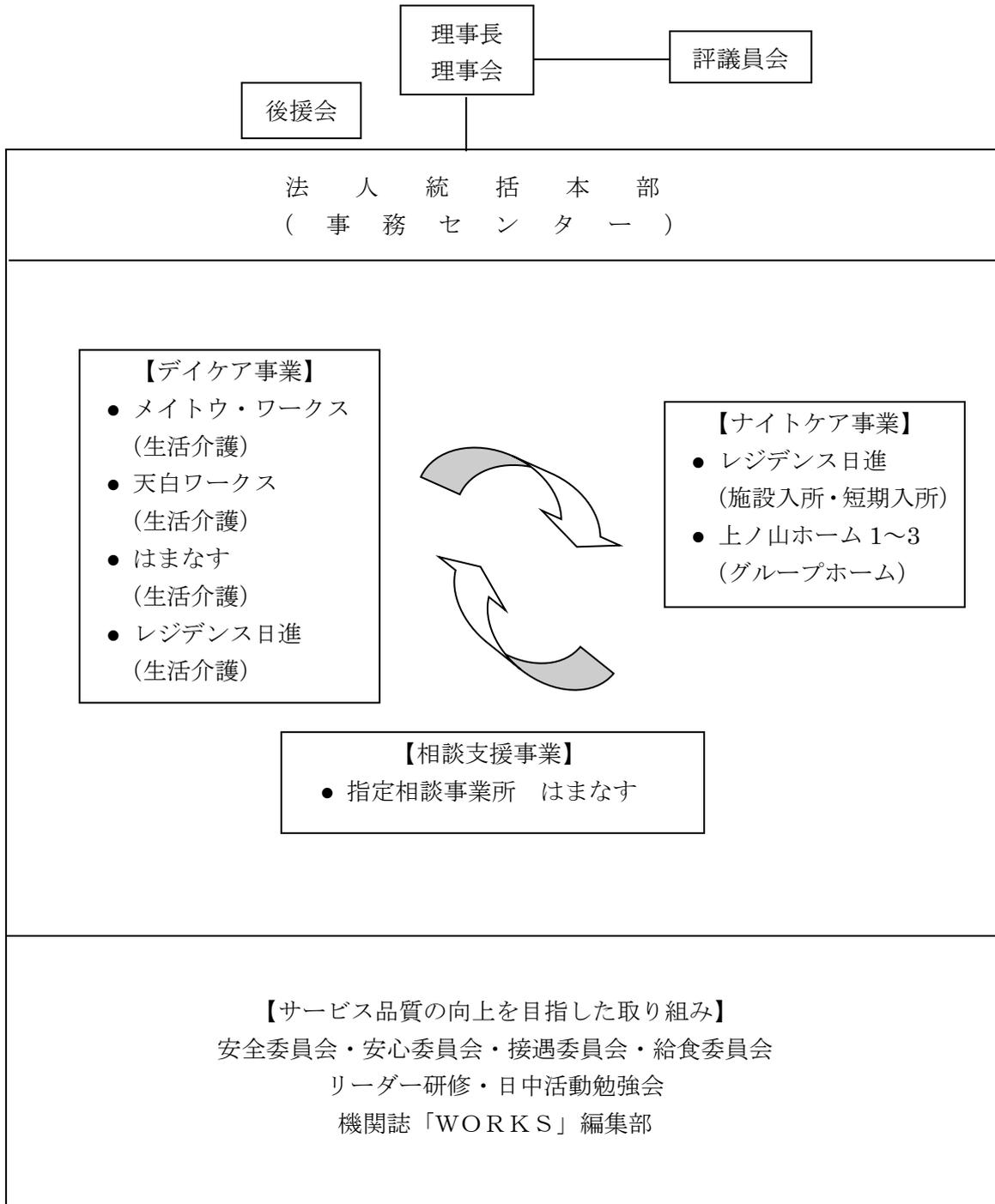
- ・障害の重さを個性として理解する
- ・利用者の意思を尊重する
- ・ひとりひとりの望みに合わせた生活を実現する
- ・人とのかかわりを大切にする
- ・生活環境を整備する
- ・社会とつながる活動を大切にする
- ・働くこと（生産活動）を支援する
- ・地域との交流を大切にする
- ・利用者や支援者の健康に配慮する
- ・支援の質を向上させ、地域に貢献できるよう努力する

利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル



事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（令和2年4月1日 現在・計86名）

	本部長	事務員	管理者	支援員 相談員		看護師	栄養士	医 師
				男	女			
法人全体	1	5	4(2)	29	44	1	1	1
メイトウ・ワークス			1	3	5			(1)
天白ワークス			1	4	8			(1)
はまなす			1	3	6			(1)
レジデンス日進			(1)	19	24	1	1	(1)
上ノ山ホーム			(1)					(1)
指定相談はまなす			1	(1)	1			

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(令和2年4月1日 現在)

名東福祉会は現在、140名以上の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供をおこなっています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が121名（うち、27名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の今年度の利用者が22名（うち、18名が法人デイケア事業も利用）で、グループホーム利用者の中には、就労している方も3名みえます。

障害のある方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応じていきたいと考えています。

1. 年齢分布

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			2	1		2	3	5	7	4	5	1	30
天白ワークス					4	2	6	2	3	3	7	4	31
はまなす	1		2	1	4		2	3	6	2	1		22
レジデンス日進			1	1			2	5	10	7	8	6	40
上ノ山ホーム							4	1	6	2	8	6	27
法人全体	1	0	5	3	8	4	17	16	32	18	29	17	150
	1		8		12		33		50		46		

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	22					2			2				1
天白ワークス	2	11	4		3	1			1	1			
はまなす	17	2		1	2								
レジデンス日進	9	8	5	1		2	1	1	1	1		1	
上ノ山ホーム	4	7		1	3	1	1	1		2			
法人全体	54	28	9	3	8	6	2	2	4	4		1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外							小計	市内小計	合計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内				
メイトウ・ワークス	2					1	3	27	30	
天白ワークス	8						8	23	31	
はまなす								22	22	
レジデンス日進	7			1	1	1	10	30	40	
上ノ山ホーム	1	1	2	1		2	7	20	27	
法人全体	18	1	2	2	1	4	28	122	150	

3. 障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計 (平均)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			2		2	4	7	7	2		4	2	30(4.1)
天白ワークス					3	1	5	1	7	4	5	5	31(4.9)
はまなす					1		5	1	6	1	4	4	22(5.0)
レジデンス日進							3	2	5	4	13	13	40(5.5)
上ノ山ホーム			1	1	3	1	8	3	6	4			27(4.1)
法人全体			3	1	9	6	28	14	26	13	26	24	150(4.7)
			4		15		42		39		50		

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	9	5	1	3	7	5			30
天白ワークス	10	4	5	1	5	6			31
はまなす	8	2	4	1	4	2		1	22
レジデンス日進	13	7	1	2	6	8	1	2	40
上ノ山ホーム	8	5	2		8	4			27
法人全体	48	23	13	7	30	25	1	3	150
	71		20		55		4		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1			1		1	2			5
天白ワークス	1	2			1		1				5
はまなす		2									2
レジデンス日進	3	3				1					7
上ノ山ホーム					1	1			2		4
法人全体	4	8			3	2	2	2	2		23
	12		0		5		4		2		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス				1	2		1	2	1	3	13	7	30
天白ワークス			1		1		3	1	8	2	7	8	31
はまなす	1	1	1	1			2		5	2	7	2	22
レジデンス日進	1	1	1	2			3	7	3		13	9	40
上ノ山ホーム	1		1				8	9	8				27
法人全体	3	2	4	4	3	0	17	19	25	7	40	26	150
	5		8		3		36		32		66		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	30	24.4	24.9	25.3	25.0	24.2	24.5
天白ワークス	35	30.4	30.2	30.4	29.5	30.1	30.0
はまなす	25	21.0	21.2	21.2	21.0	20.9	21.6
レジデンス日進	40	37.9	37.3	36.6	36.5	35.4	37.4
上ノ山ホーム	27	25.1	25.8	26.3	26.5	24.3	26.2

10月	11月	12月	1月	2月	3月
24.1	24.4	23.9	23.2	24.2	22.7
29.5	30.4	30.5	28.8	30.4	28.0
20.7	20.5	20.3	20.4	20.1	20.0
37.8	38.1	36.6	33.8	37.3	37.3
26.0	26.1	25.1	24.2	26.4	25.2

今年度平均	前年度平均	
24.2	27.6	メイトウW
29.8	31.7	天白W
20.8	21.3	はまなす
36.8	36.9	レジデンス
25.6	25.3	上ノ山H

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
83	89	87	92	101	106	103	85	80	69	85	76	1,056

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15	14	16	15	16	13	14	16	14	11	14	12	170

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						
天白ワークス			1	1		1
はまなす	13	14	13	15	10	12
法人全体	13	14	14	16	10	13

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						0	メイトウ・ワークス
1				1		5	天白ワークス
15	13	15	18	14	13	165	はまなす
16	13	15	18	15	13	170	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基くサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

令和元年度は、就労継続支援 B 型を廃止し、生活介護事業に統合した。就労継続支援 B 型を利用してきて、引き続きメイトウ・ワークスの生活介護事業を利用される方たちに対しては、これまでの支援形態を継続して提供することにより、安心して移行していただけるように対応した。

施設的环境改善の一環として、施設内の照明を LED 照明で増設し、館内が明るくなった。また、老朽化していたグラウンドのフェンスを取り替え、親しみの持てる施設環境となるようにした。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶 芸	縫 製	下請他	計
令和元年度	383,201	34,262	1,119,006	1,536,469
平成 30 年度	866,029	262,616	790,562	1,919,207

(2) 作業内容

● 下請け作業

部品の組み立て、袋詰め、仕分け作業など、作業工程を細分化し、利用者の特性に合わせた作業を提供できるようにしている。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、お皿などの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、成形、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなどをおこなった。

● 縫製作業

変身ぬいぐるみの製作。作業工程が多く、能力に合わせた作業がある。生産量を調整し、注文に応じて作成した。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,590,000 円	54,827 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● リラクゼーションプログラム

アロマ、足浴

● 創作活動

陶芸の創作活動は、上ノ山の陶芸棟でおこなった。

● グループハイク

● 音楽活動

● 全体行事

- ・クリスマス会
- ・ポケットの会
- ・豆まき
- ・めいとう朗読会
- ・家族会ボランティア交流会
- ・あそび広場（高針北保育園交流）
- ・書初め大会

(5) 地域交流

年間を通してボランティア様に来所いただき、作業やイベントを通して、利用者との関わりを深めている。

- ・高針北保育園「あそびひろば」に招待参加
- ・高針北保育園園児さんを施設行事に招待
- ・名東の日（区民まつり）参加
- ・名東保健所主催のエコフェスタに参加
- ・コミュニティーセンターの行事に参加

(6) 地域貢献

- ・隣接するコミュニティーセンターと連携して、地域のイベントをおこなった。
- ・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして利用していただいた。
- ・地域の中学生の福祉体験や職場体験をおこなった。
- ・大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修など随時受け入れた。

天白ワークス

令和元年度は、事業が生活介護へと一本化され、新たなスタートを切った。

プログラム内容に大きな変化はないが、利用者の個々の特性に合わせ、グループ別に活動を提供した。様々な活動を通じて社会とつながり、貢献していくことを目指した。

大枠としては、生産活動中心のグループと、レクリエーション活動も取り入れながらおこなうグループがある。

別館や製菓作業の生産活動中心の利用者には、評価給を設け、作業する意欲を高めた。

また、別館では、毎月会議をおこない、お出かけの行先を考えたり、それぞれに意見を出し合った。

1階作業室では、週1回、午前中に創作活動の時間を設け、思い思いに絵を描いたり、ドッグセラピーを取り入れたりと新たな取り組みも始めた。

健康支援としてウォーキングをおこなった。また、リフレッシュプログラムとして、お花見・初詣や、必要に応じて散歩プログラムを提供した。

各種展覧会に出品し、ノベルティグッズとして製品化されたり、作品を幅広く知っていただける機会となった。

陶器・焼き菓子の製品を喫茶店や地域のバザー、おまつり等で販売し、施設の紹介に努めた。

ロト店舗の外観や室内の一部改装をおこなった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶 芸	焼き菓子	精 米	下請他	計
令和元年度	396,402	1,508,610	0	851,983	2,756,995
平成30年度	1,396,617	1,576,165	0	963,842	3,936,624

(2) 作業内容

- 陶芸
食器(コップ・皿)、置物、マグネット等を製作。成形、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げをおこなった。
- 焼き菓子
クッキー・パウンドケーキ等の焼き菓子を手作りで製造し販売した。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担した。
- 精米
令和元年度は休業した。
- 下請け
部品の組み立て、製品の袋詰め等、工程がわかりやすい作業をおこなった。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加した。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	2,207,900 円	68,996 円/年

別館・製菓作業の利用者を中心に評価給を上乗せしている。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

- グループハイク
春と秋の2回行い、場所や内容を選んで参加した。
- 音楽療法
月2回、講師によるミュージックケア。2グループに分けて利用した。
- ドッグセラピー
11月より1階作業室で月1回、犬とふれあえる機会を設けた。
- 家族交流会
はじめての試みとして、家族の方々に5グループに分かれていただき、天白ワークスへ来ていただいた。半日の時間を使い、館内の案内から始め、希望する作業場所に入っただき、一緒に活動をして交流を図った。また、一緒に給食を食べたり、喫茶時間も設けた。
- クリスマス会
ゴスペルグループによるクリスマスコンサートや、作業室ごとに練習の成果を披露した。
- スポーツ大会
ソフトボール大会、フットベースボール大会に参加した。

(5) 地域交流

- ・あけぼの学園祭り、区民まつり等地域のおまつりへの参加
- ・マーガレット・マルシェ
- ・天白区かおの見えるアート展
- ・近隣にお住いのボランティアさんに活動の可能な日・時間で参加いただいている。
- ・美濃焼まつり・せともの祭り

(6) 地域貢献

教職課程履修の大学生の介護体験実習

はまなす

令和元年度は、午前は生産活動を、午後はレクリエーション活動を主体とした活動をおこなった。

生産活動では、働くことで、社会とのつながりを大切にし、社会貢献を目指せるよう支援した。作業を工程ごとに分けておこない、難しい作業も治具を使用したり、タイマーを使用したりして、分かりやすく内容を提示し、取り組むことができた。

レクリエーション活動では、芸術、音楽、スポーツを通して利用者が自己表現できるものを見つけていき、生き生きと生活ができるよう支援した。活動内容を曜日によって決めているため、見通しを持って取り組むことができた。

毎週木曜日午後の創作活動では、はまなすのロビーに飾る大きな「貼り絵」を制作した。テーマは、桜や七夕、ハロウィン、クリスマス等のイベントや時季に合ったものを制作した。素晴らしい作品が出来るようになり、やりがいを持って取り組むことができた。

毎週金曜日午後の身体活動では、無理なく、楽しく身体を動かすことで、健康にも配慮した活動となるよう、バランスボールやマットを使用しての軽運動や、ビーチボールや大きな風船を使用して、バレーボールをおこなった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下 請	雑収益	計
令和元年度	126,040	12,000	138,040
平成 30 年度	129,422	233,467	362,889

(2) 作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止め、ポケットティッシュの包装等。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
生活介護	132,500 円	5,760 円／年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策をおこなった。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを入れ替えて実施した。

● 通常のレクリエーション

毎日、午後の時間帯に月曜日陶芸、火曜日足湯、水曜日カラオケ、木曜日創作、金曜日身体活動、毎月 1 回、水曜日に音楽療法士による音楽活動をおこなった。利用者の参加の定着ができた。

- ソフトボール大会への参加
4月26日(金)に小幡緑地西園球技場において、天白ワークス、レジデンス日進との合同チームで大会に参加し準優勝した。9月25日(水)にも、小幡緑地西園球技場において、天白ワークス、レジデンス日進との合同チームで大会に参加し準優勝した。
- スポーツ大会
11月1日(金)午後より、名古屋市障害者スポーツセンター体育室において、家族会と合同で運動会をおこない、家族会やボランティアとの交流を深めた。
- プール活動
7月から9月にかけて小グループにて、名古屋市障害者スポーツセンター室内プールを利用した。
- 夏まつり
8月8日(木)の午後から、ビンゴゲームや軽食などで楽しんだ。
- グループハイク
5~6月と9~10月、12月の3回、小グループによる日帰り旅行を実施した。1回目は、名古屋港水族館、ぎふ清流里山公園、安城産業文化公園デンパーク、竹島水族館、あいち健康の森公園、2回目は、豊田市美術館、名古屋港水族館、はままつフルーツパーク時之栖、伊賀の里モクモク手づくりファーム、3回目は、豊橋市総合動植物園、まるは食堂とえびせんべいの里、名古屋港水族館、浜松エアパークとうなぎパイファクトリー、竹島水族館に出掛けた。
- フットベースボール大会への参加
10月21日(月)にテラスポ鶴舞ウエストグラウンドにおいて、天白ワークスとの合同チームで大会に参加した。
- クリスマス会
12月18日(水)午後から、毎月おこなっている音楽活動に、クリスマスイベントを加えて楽しんだ。

(5) 地域貢献

- 5月26日(日)・11月24日(日) 高針台一丁目町内会一斉清掃
- 8月 極楽学区盆踊り大会協賛金協力
- 10月 秋の祭礼「たかほくまつり」へバザー品を提供協力

また、区内中学生の福祉体験、職場体験等の受入れや、名古屋市新規採用職員研修やホームヘルパー実習及び大学・専門学校からの教員免許介護体験等の学生実習も随時受入れた。

レジデンス日進

生活介護事業

令和元年度は、日中活動において就労継続 B 型支援事業の廃止、生活介護事業への一本化という大きな変化があったが、大きなトラブルもなく、比較的スムーズに移行することができた。また、新たな試みとしての「自立課題」も、約半年間の準備を経て、8月から導入することができた。

生産活動については、B 型事業から引き継いだ下請け作業を、前年度と同様に取り組むことができた。また、新たにお茶、書籍のネット販売を開始し、発送するお茶・書籍を、利用者が郵便局に持っていく作業を取り入れることができた。

「自立課題」は、特に自閉症の利用者への「構造化」対応の手法として、落ち着いて（安心して）、生き生きと、楽しく、人と関わることのできる環境にすること（生活の質の向上）を目的として取り入れた。

課題の設定が難しく、本人が主体的に取り組める課題を用意することに職員は苦戦しているが、お茶を飲むことをトークンとして、課題を終えたらお茶を飲むという流れは早い段階で理解された（本来のトークンの考え方であれば、主体的な課題への取り組みを促すために、課題を終えるごとにスタンプを押す、シールを貼り、例えば 10 個集めたら好きなもの（報酬）がもらえる、という形にすべきであるが、現状では集めるという意味理解が難しいため、毎回、目に見える「お茶」を報酬として提供している）。

「自立課題」は、自閉症に限定されることなく、知的に障害のある人に有効な手法であることから、現段階で、生産活動に取り組むことが難しいと思われる利用者に提供している。

これまでは職員が決めて作業を提示しているスタイルだったが、本人の選択に期待して複数の課題を用意することにより、課題に関心を持って手に取る利用者や、比較的長時間取り組む利用者も増えてきた。

作業による売上については、毎日生産活動に参加している利用者には、その取り組みを数値で評価し、毎月工賃として支給した。また、自立課題やレクリエーションが中心の利用者には、賞与という名称で年 2 回支給した。

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下請他	お茶・書籍	雑収益	計
令和元年度	1,585,629	1,389,518	4,000	2,979,147
平成 30 年度	1,352,303		240,267	1,592,570

(2) 作業内容

- ・施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、水洗トイレの部品組立など）を主な作業（生産活動）として提供した。
- ・お茶、書籍を販売、発送した。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
主たる取り組み（生産活動）	1,379,900 円	106,146 円／年
主たる取り組み（自立課題）	312,000 円	13,000 円／年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心におこなってきたものを継続して実施した。

特にイベントについては、季節感のある行事を意識して実施することができた。

● 季節行事

- お花見：レジデンス日進前の桜を鑑賞した。
- はるまつり：レジデンス日進・上ノ山ホームの休日余暇としての位置付け。基本的に親子での参加形態をとり、午前中は上ノ山の竹林でたけのこ掘りをおこない、午後からはご家族と職員の交流会『しゃべり場』を実施した。
- 流しそうめん：七夕を意識して、昼食としてそうめんを味わった。
- なつまつり：花火は、ナイトケア事業の余暇支援としての位置付け。午後からスイカ割りとかき氷、夕食後は花火を楽しんだ。
- バスハイク：2グループに分かれ、観光バスを利用して「大井川鉄道 SL」「琵琶湖ミシガン船クルーズ」に出掛けた。
- あきまつり：レジデンス日進・上ノ山ホームの休日余暇としての位置付け。基本的に親子での参加形態をとり、模擬店、ゲーム、ステージ企画を楽しんだ。
- クリスマス会：日進市の登録ボランティアさんに来ていただき音楽を楽しんだ。また家族会にはサンタ役としてご協力いただいた。
- 初詣：近隣の神社に出掛けた。
- 節分：職員が鬼となって豆まきをおこなった。

● スポーツイベント

- ソフトボール大会：4月に法人合同チーム（天白ワークス・はまなす）でソフトボール大会に参加した。
- ゴルフ観戦：主催者から招待があり、中京テレビ・ブリヂストンレディーズオープンを観戦した。

● その他

- 和太鼓：毎月、第2金曜日に言語聴覚士でもあり、障害児・者に和太鼓の指導をされている先生に来ていただき、太鼓の音、響きを体感することができた。
- 音楽療法：第4金曜日に音楽療法の講師に来ていただき、楽器に触れる、身体を動かすなどの音楽活動を楽しんだ。
- ドッグセラピー：第2、4火曜日に、訓練を受けたセラピー犬を連れて来ていただき動物とふれあうことで癒しの空間を提供した。

(5) 地域交流

- ・お花見では、近隣の喫茶店にお花見弁当を注文した。
- ・ゆったり工房あじさいコンサート（日進市内の他事業所主催に協賛）に参加した。
- ・にしん市民まつりに出店した。
- ・あきまつりでは、地域との交流を目的として、地元のお囃子保存会の方々、老人クラブの方々もお招きした。
- ・日進市の障害者団体連絡会主催のクリスマス会に参加した。

(6) 地域貢献

- ・隣接した学童保育所「にしっこクラブ」の子どもたちに、なつまつりに参加していただいた。
- ・隣接した学童保育所、動作法訓練会（つばさの会）、子育て支援グループ、地域の市民グループに、「デイサービス2階」及び「地域交流スペース」を活動場所として提供した。

* 参 考

R1年度	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	383,201	396,402			779,603
縫 製	34,262				34,262
焼き菓子		1,508,610			1,508,610
精 米					
下請他	1,119,006	851,983	138,040	2,979,147	5,088,176
計	1,536,469	2,756,995	138,040	2,979,147	7,410,651

H30年度	1,919,207	3,936,624	362,889	1,592,570	7,811,290
H29年度	2,158,861	3,718,970	154,545	1,333,220	7,365,596
H28年度	2,332,674	3,017,411	139,640	1,358,689	6,848,414

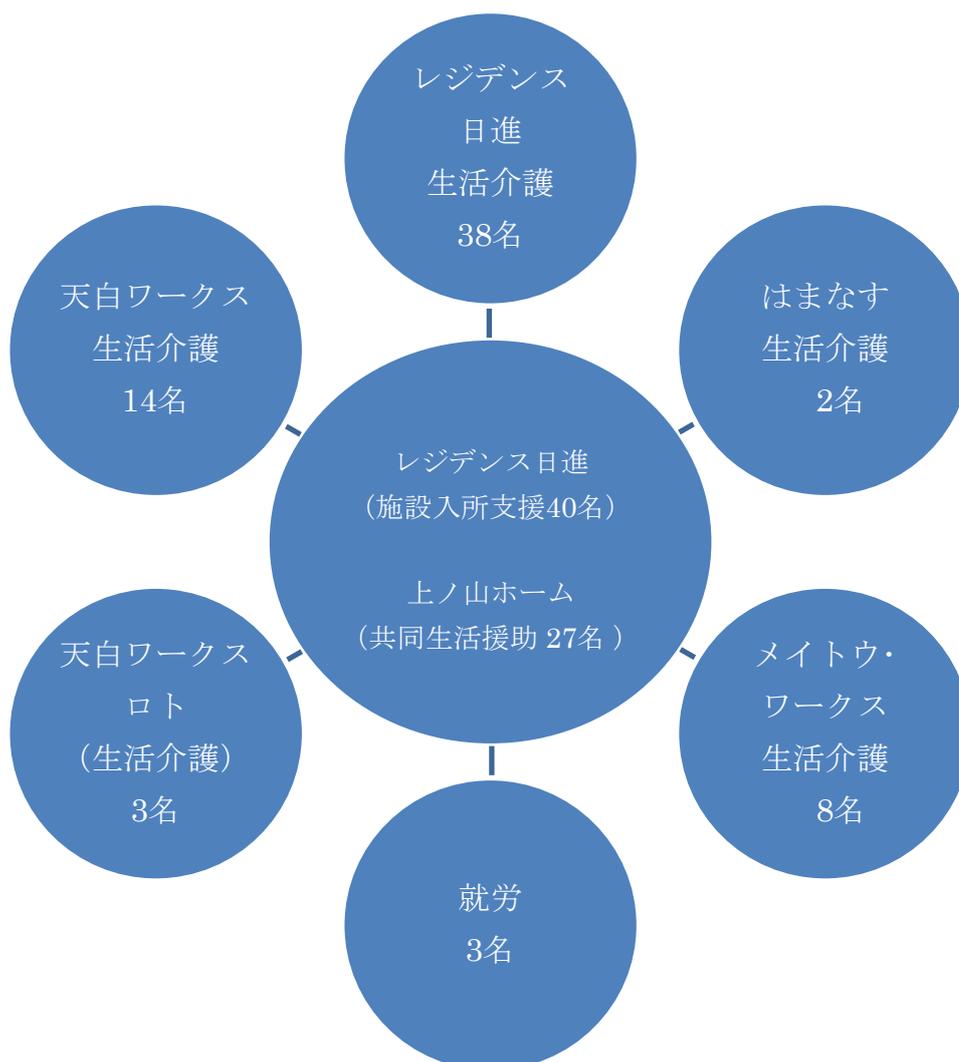
ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点として、グループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットとして考え、ナイトケアのノウハウを活かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

1. 生活の場と日中活動の場の連携

施設入所支援においても、他事業所を利用できるよう支援することがレジデンス日進の大きな特色である。利用者の方々に安心して生活していただくためには、日中活動事業所との連携が不可欠であることから、利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するよう努めた。



(※上図は令和元年度)

2. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援及び共同生活援助を「ナイトケア事業」として位置づけ、職員配置、勤務割り等を一体化して管理体制を維持することができた。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心としたバックアップについても、継続して協力を得ることができた。

3. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援を基盤とし、上ノ山ホームも同様に1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤として、完全個室での個別対応による利用者の生活の安定を図った。

特に、入浴は、各ユニット（住居）に浴槽2箇所設置しており、毎日、個別に入浴するスタイルも継続実施できた。また、共有スペースには、テレビ、テーブル、椅子等を配置して、朝夕の食事はもとより利用者がくつろげる空間として提供した。

4. 健康管理

レジデンス日進及び上ノ山ホームの、ナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師が中心となり、現場支援員との連携を図りながら取り組んでいる。

年2回の定期健康診断を実施。個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診、インフルエンザ予防接種を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は、毎朝（休日は除く）及び午後からの時間を利用して30分間のウォーキングを実施した。

感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者の早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への受診も継続支援できた。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意した。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り、適切な支援・介護に努めた。

また、夜間帯には、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）を各ユニットに設置し、緊急時には6名の職員が連携をとり合い、より早く対応できるよう努めた。

5. 防災対策

専門業者による消防設備点検、災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、避難誘導訓練（隔月）をおこなった。

6. 金銭等の管理

利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実に旨としておこなった。また、年金及び現金管理をしている利用者に対しては、行政等の手続きの代行、年金管理を家族・後見人等が担っている利用者に対しては、預かった現金の管理をおこなった。

7. 季節行事

ナイトケア事業の季節行事として、花火大会（なつまつり）、年始の餅つきをレジデンス日進・上ノ山ホーム合同で実施した。レジデンス日進単独としては、クリスマス会を実施した。その他の行事（はるまつり、あきまつり、バスハイク等）は、日中活動と連動させた形でおこなった。給食では年末・年始、節分・ひなまつり・端午の節句など時季に合わせた献立を考慮して提供した。

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、療育支援事業等を通じて、地域にお住まいの障害のある方々の生活を支える取り組みにも力を入れてきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

平成 17 年に名東区で地域生活支援センターを開設、地域にお住まいの方々の相談支援を開始し、平成 26 年には名古屋市より名東区障害者基幹相談支援センターの事業を受託、総合的な相談や地域づくりといった、地域生活支援の拠点機能を担ってきました。

現在、基幹相談支援センターの委託業務は終了しましたが、平成 26 年よりはまなすに併設した指定特定相談支援事業所にて計画相談支援の提供をおこなっており、引き続き地域に根差した相談支援に取り組んでいます。

指定相談事業所 はまなす

今年度は、新規での契約は12件（うち法人内利用者1件）となった。

契約者数は、前年度の132名から一時144名にまで増加したが、うち8名は他事業所への移行や、介護保険への移行、一般就労、転居、死去等により契約解除に至っており、令和2年3月31日現在で136名となっている。

契約者数は、少しずつ増加傾向にあるが、その分相談者一人一人に関わる時間が減少し、相談支援の質を維持することが難しくなりつつある。

このような状況の中で、簡略化できるところは簡略化し、効率的に業務を進めながら、相談支援の質の維持と契約者数のバランスを考えていくことが引き続き必要である。

1. 契約者の内訳

【居 所】

	名古屋市	日進市	尾張旭市	瀬戸市	北名古屋市	計
人数	117	9	2	2	1	
	春日井市	江南市	一宮市	愛西市	豊田市	
人数	1	1	1	1	1	136

(名古屋市の内訳)

	名東区	昭和区	天白区	守山区	緑区	千種区	瑞穂区	中村区	計
人数	78	5	10	6	7	5	2	1	
	北区	西区	東区	南区	港区	中区	熱田区	中川区	
人数	0	0	0	2	0	1	0	0	117

(住まい別)

	施設入所	グループホーム	ひとり暮らし	家族と同居	有料老人ホーム	その他	計
人数	36	19	8	71	1	1	136

【年齢・性別】

	児（～17歳）	者（18歳～）	計
男性	5	72	77
女性	2	57	59
計	7	129	136

【障害種別（重複障害あり）】

	身体	知的	精神	発達障害	難病
人数	15	111	13	5	0

2. 職員研修及び自立支援協議会参加状況

実施日	内容 等
4/19 5/17 6/21 7/18 8/16 9/20 10/18 11/15 12/20 1/24 2/21 3/27 (中止)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議 (計 12 回) <li style="padding-left: 20px;">: 令和 2 年 3 月は新型コロナウイルスの影響で中止 <li style="padding-left: 20px;">【事務局: 区福祉課、保健 C、基幹相談支援センター】 ⇒ ・年 6 回 (偶数月) は計画相談の状況、協議会運営、制度動向 等 ・年 6 回 (奇数月) は事例検討 等
11/29	<ul style="list-style-type: none"> ・家族としてできること ～親なき後を考えた時～ <li style="padding-left: 20px;">【主催: 春日井市手をつなぐ育成会】
12/1	<ul style="list-style-type: none"> ・罪を犯した障害者の地域生活支援の実際 ～触法コース～ <li style="padding-left: 20px;">【主催: A S K】
2/11	<ul style="list-style-type: none"> ・発達を支える障害児支援利用計画 ～障害支援コース～ <li style="padding-left: 20px;">【主催: A S K】

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体でおこないたいと考えています。法人・事業所の特色を活かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持ち、給食メニューの見直しをおこなう。

(2) 構成

法人：本部長、栄養士、事業所支援員各1名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士1名

(3) 活動報告

毎月第2木曜日に開催

- ・前月の給食内容（献立・提供方法など）についての検討
- ・利用者個別対応の確認（健康・食品アレルギー等の考慮）
- ・新規メニューを含めた献立の検討
- ・衛生面、感染症対応の確認

(4) 成果等

一昨年度から取り入れた麦ご飯の提供に関して見直しをおこない、障害特性を考慮した上での提供に修正することができた。

各事業所の検食簿に記載された内容を基にして、味付け、食材のバランス等、委託業者の献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

食事が冷めてしまうことを防ぐための対応として、食べる直前に温めた「餡（あん）」をかける工夫が定着した。

2. 研修会等

【「支援リーダーのしごと」研修会】

(1) 目的

技術や知識、アレンジ力（配置する、整える力）・アドリブ力（臨機応変な対応力）など、総合的なスキルアップを図ることで、リーダーシップ力を身につけ、法人全体を視野に入れて利用者支援ができる職員を目指す。

(2) 構成

理事長、各事業所副所長・ユニット責任者、職員

(3) 活動報告

	年月	内容
1	R1.5	法人の理念を確認する
2	R1.6	障害特性について
3	R1.7	研修報告
4	R1.9	言葉遣いについて考える
5	R1.11	「魅力・満足」「やりがい」について
6	R1.12	自身の魅力について
7	R2.2	津久井やまゆり園の事件について考える
8	R2.3	勤務中の職員の飲食について

(4) 成果等

各施設のリーダーとして職員に何を伝えていくのかをテーマに研修をおこなったが、特に 5～7 回の研修においてひとりひとりのこの仕事に対する自覚と責任といった点について考えを深めることができた。

また、1 回ではあったが、研修報告をすることで、研修内容を複数の職員で共有させることができた。

【接遇委員会】

(1) 目的

支援の本質を考えることで、「どうして職員は利用者に対してマルチリトメント（不適切なかかわり）をしてしまうのか？」を理解し、より適切な支援を実践することを目指す。

(2) 構成

講師（レジデンス日進職員）・各事業所管理者推薦職員

(3) 活動報告

	年月	内容
1	R1.5	支援を考える 1 だれの？ なにを？
2	R1.6	支援を考える 2 接遇⇌人と人との対等なコミュニケーション⇌支援
3	R1.7	支援を考える 3 意思決定支援
4	R1.8	支援を考える 4 意思決定支援とは？
5	R1.9	支援を考える 5 意思決定支援の“意思”って何ですか？
6	R1.10	支援を考える 6 見て、聴いて、触れる外界（感覚世界）
7	R1.11	支援を考える 7 定型発達者 自閉症者 統合失調症者
8	R1.12	支援を考える 8 “強化”とは・・・行動分析という方法
9	R2.2	支援を考える 9 “制度・理念”と“現場（実践）”のあいだはズレている
10	R2.3	支援を考える 10 これまでの振り返り

(4) 成果等

障害者支援の歴史、制度説明、障害特性の理解等を学んだ上で、特に重度の知的障害者の自己決定、意思決定支援について考えることができた。

また、自己決定、意思決定支援を踏まえ、最終的に相模原津久井やまゆり園の事件についても触れることができた。

【日中活動勉強会】

(1) 目的

将来的な日中活動の内容について、長期的視点で検討する。加えて、法人内事業所の職員の交流を図るため、各事業所で勉強会を開催する。また障害に関する知識や障害福祉制度の理解のための情報提供をおこなうことで、各事業所での日中活動にフィードバックしてもらおう。

(2) 構成

各事業所希望職員・法人事務センター職員

(3) 活動報告

	年月	内容
1	R1.6	昨年度報告、改めて「生活介護」について考える
2	R1.7	改めて「生活介護」について考える2、事業所での服薬支援
3	R1.8	障害支援区分の成立過程と課題、認定調査のポイント
4	R1.9	改めて「生活介護」について考える3
5	R1.10	改めて「生活介護」について考える4、支援記録の書き方
6	R1.11	改めて「生活介護」について考える5
7	R1.12	ハラスメントと虐待
8	R2.2	障害のある人のアート活動、やまゆり園事件から考えること

(4) 成果等

今年度は、日中活動が生活介護事業所に一本化された、ということで、改めて生活介護事業について考えることを中心に、日々の支援の中で重要な服薬の支援や支援記録についても確認する機会とすることができた。

また、普段あまり説明を聞く機会がないと思われる「障害支援区分」と「認定調査」についても時間を設けて情報提供をおこなうことができた。

3. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.143 (7月発行)

「思いを確かなものに～新たな理念のもとで」

No.144 (10月発行)

「管理者さんの横顔」

No.145 (3月発行)

「日中活動における「自立課題」の導入について」